

絶対評価審判方式 一般減点について

一般減点(General Deduction)の評価方法

- ★観客でも気付くような演技の恒常的でない欠点について、PCSの中に曖昧に埋もれないように客観評価する。(本質的な場合はPCSと減点と両方に影響させる)
- ★演技は曲のスタートからフェードアウトが始まるまでの曲に対する全ての時間。
 - ☆曲がスタートしたらお辞儀や導入準備動作も含めてバランスを崩してはならない。
- ★複合の問題は、もっとも大きい減点を採用(例: バランスロスの結果として転倒⇒転倒のみ)
- ★一般減点は、レフェリーが判定する。審判員は、一般減点と思われる事象のマーキングを行うことができる。
- ★審判員は、レフェリーの判定する一般減点に関して異論のある場合は異議を申し立てる。

< 1 > Fall (転倒) {-2.0/回 (最大-6.0/曲)}

- ①自分の責任による転倒
 - ★全員競技の衝突などは自分がLOD違反の場合に採用される。
- ②軽く片手をついた程度の場合はBalance Lossとする。
 - ★バランスを保ったまま手を付くフィガーは対象外。
- ③体が床に落ちなくても、座り込んで立てなくなったり、完全に相手が持ち上げねばならない状態になれば転倒と判断する。

< 2 > Discontinuation .1 (演技の中断) {-1.0/曲}

- ①演技中に、以下の項目でトータル概ね5秒以上30秒未満の演技の中断があった場合
 - ★演技中に演技効果なく曲のフレーズ合わせなどのために休止した場合。
 - ★導入準備動作以外に行われるお辞儀動作、リズムをとる動作、観客を煽る動作。
(導入準備動作とは、First Stepを踏む前の12小節(ヴィエニーズワルツは20小節)位内)
- ②全員競技の場合は、危険回避動作など意味があれば中断の時間にカウントしない
- ③曲の30秒以上演技しなかった場合は、
中断ではなく< 4 >で定めるLong time Discontinuationとする。

< 3 > Discontinuation .2 (競技(曲)の中断) {-0.5/曲}

下記の場合、レフェリーは競技(曲)を中断するとともに該当選手に減点を宣言し、60秒以内で靴や衣装の修復を指示する。

- ①自責により靴が脱げた場合。
 - ②自責により靴紐が外れて安全な競技を妨げる場合。
 - ③自責によりゼッケンが外れた、または破れたために、審判員が読み取れない状態になった場合。
 - ④自責により衣装が外れた、または破れたなどのために、不適切または危険性がある場合。
 - ⑤その他、上記に準ずる事例が発生した場合。
- ※なお、メディカルタイムアウト(MTO)については規程に従う。

上記については、選手から申請がありレフェリーが認めた場合を含む。選手から申請がある場合は、選手がアピールしてからレフェリーに認められるまでの時間は **Discontinuation .1**(演技の中断)の時間に含まない。

ただし、自責でない場合（ほかの選手に衝突された、踏まれたなどのために生じた不備）は減点の対象外とし、レフェリーは制限時間を設けず靴や衣装の修復を指示する。

競技(曲)の再開には、その曲の初め(イントロ)から曲をかけるものとする。(ただしパソドブレのみ、第1ハイライトの前に曲を中断した場合は曲の始めから、第1ハイライトの後に曲を中断した場合は第1ハイライトの少し前から曲をかけ第1ハイライトの後から競技を再開するものとする。) この競技(曲)の再開は通常の競技の開始と同様に扱うものとする(出遅れなど対象)が、その際の曲の長さは、再開後の **First Step**(グループ競技の場合は<7>④出遅れにならない範囲で最後に踊り始めた選手の **First Step**)から中断した曲の残りの秒数を踊るものとする。(パソドブレのみ、レフェリーの判断で第2ハイライトまたは第3ハイライトまで踊ることがある)

< 4 > Long time Discontinuation (長時間中断) {Loss} {この種目の点数を失う}

- ①棄権した場合。
- ② 規程で定める MTO 後の競技再開に間に合わない場合。
- ③ ドクターストップがかかった場合。(棄権扱いとなる)
 - ・ドクターストップについてはレフェリーがその大会の救護係と協議し判断する。
- ④< 2 >で定める **Discontinuation .1** (演技の中断) で曲の 30 秒以上演技しなかった場合。
- ⑤< 3 >で定める **Discontinuation .2** (競技(曲)の中断) を宣言されたあと、靴や衣装の修復が競技(曲)の再開に間に合わない場合。
- ⑥< 3 >で定める **Discontinuation .2** (競技(曲)の中断) を同一選手が同一ラウンドで 2 回以上宣言された場合。

< 5 > Dress Code Violation {-2.0/曲}

- ①レフェリーがドレスコード違反と判定した場合に減点 (※場合によっては競技長と協議する)
(演技はさせるが減点することで再発を防止できる)
- ②ドレスコード違反を判定した場合、レフェリーは速やかに選手に注意し、着替えを認めた場合のみ、同ラウンド内のドレスの着替えを認める。ただし、競技は中断することはない。同選手が着替えのため< 2 >で示す出遅れ、中断などある場合は、**Discontinuation** で減点する。
- ③同一ラウンド内で、レフェリーが認めていない着替えがあった場合。この着替えには新たに布類、装飾品や備品を増やしたり意図的に外したりすることも含む。

< 6 > LOD Violation (LOD マナー違反) {-2.0/回 (最大-12.0/曲)}

- ① 全員競技のみ：LOD マナー違反等による他選手への大きな妨害

< 7 > Error (間違い/失敗) {-0.5/回 (最大-3.0/曲)}

- ①バランスロス
明らかに演技の目的とは異なるスリップ、躓き、一瞬バランスを失うなどの現象
- ②コネクション喪失/ロス
ホールドが期待されない形ではずれた場合 (全員競技における危険回避を除く)
好ましくない観客へのアピール

ドレスが顔にかぶるなどした場合の一瞬の払いのける動作は対象としない。

③カップルで明らかに異なるステップを踏んだ場合。

④出遅れ=Call してからレフェリーが指定した時間内に **First Step** を踏まなかった場合。

(Call してから 30 秒以内に音楽をスタートし、イントロを含め 12 小節 (ヴィエニーズワルツのみ 20 小節) まで待ってもよいが 13 小節目 (ヴィエニーズワルツは 21 小節目) には **First Step** を踏むものとする)

※「**First Step**」は導入準備動作や予備歩を含まない踊り始めの一步目とする

⑤早い演技終了=フェードアウトが始まる以前にダンス部分を止めた場合

⑥予定外のフィガーをしようとするなどして、がたついた場合。

⑦ドレスが顔にかぶったままで演技して見苦しかった場合。

★8 小節目程度の間に自然な回転で振り払う、演技的な自然な手で振り払う動作は減点せず。

⑧フロア場外演技。

危険回避の場合を除き、フロアから足が出て演技した場合。

⑨リフトを行った場合。

★リフトとは、組相手の補助によって両足が床から離れ、かつ人間が一人でジャンプした滞空時間を大幅に超える場合をリフトと判断する。(距離や高さを出すなどのために行うジャンプ時の補助は含まない。)

⑩その他、演技として見苦しい失敗。

一般減点(General Deduction)の事例

①踊りだす前の減点例:

・音楽が鳴りはじめたら通常の歩行や準備動作にもバランスを崩したらバランスロスで減点する。

③(Paso)曲の終了直前の第 2 ハイライトで静止せずにぐらついている場合、バランスロスで減点する。

(着地や曲の終了時点でバランスが取れていないと判断されればバランスロスで減点)

④ドレスが顔にかかったまま見苦しい状態が概ね 8 小節目以上続いたら **Error** で減点

(演技として見苦しいドレスは避けるべき)